

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称			仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮
竣工年月	2019年12月	予定	<p><備考></p> <p>外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください</p>		
建設地	宮崎県東諸県郡 市街化調整区域	確定			
用途地域	7 地域				
省エネルギー地域区分					
構造・構法	木造・軸組工法	確定	評価の実施日	2019年10月6日	
階数	1		作成者	下原	
敷地面積	606 m ²	確定	確認日	2019年10月6日	
建築面積	134 m ²	確定	確認者	下原	
延床面積	123 m ²				
世帯人数	4	確定			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE 3.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>~0%: ☆☆☆☆☆ ~50%: ☆☆☆☆☆ ~75%: ☆☆☆☆☆ ~100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p>戸建標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>Q のスコア = 4.0</p> <p>LR のスコア = 3.9</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする Q1のスコア= 4.1</p> <p>暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ</p> <p>Q2 長く使い続ける Q2のスコア= 4.2</p> <p>長寿命に対する基本性能 維持管理 機能性</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする Q3のスコア= 3.5</p> <p>まちなみ・景観への配慮 生物環境の保全と創出 地域の安全・安心 地域の資源の活用と住文化の継承</p>		
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う LR1のスコア= 4.8</p> <p>総合的な省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR2のスコア= 3.4</p> <p>省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減 リサイクルの促進</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LR3のスコア= 3.6</p> <p>地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮</p>		

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物の断熱性能の向上に加え、換気、給湯、照明仕様の負荷の軽減によりBEI☆☆☆☆とする。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>性能の高い開口部材を採用し、外皮平均熱貫流率:0.56(Ⅲ地域)を越える性能値とする。その事により換気の負荷軽減を行う。Mahatシステムの採用により室内温度差をなくす。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>耐震等級:3・耐風等級:2とし、外壁通気工法により躯体長寿命を謀る。給水・給湯ヘッダー方式の採用による維持管理のしやすい体制とする。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>近隣の敷地に対し十分な後退距離をとることにより見通しの確保を考慮した。接道部分をオープン駐車場とした。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>節水について水優先吐水、小流量吐水機能の採用。電気ヒートポンプ給湯器、食洗器を用いる。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>構造部材のプレカット材の使用。施工現場での分別収集の実施。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>従前の地形を改変せず、敷地内の緑化を心がけ自然環境の保全に務めた。分別ストックスペースを設けた。</p>